

たくさんの希望を胸に！

～JETプログラム参加者が日本へ出発～

シドニー事務所

この記事が読まれる頃には、既に各自治体や学校にJETプログラムの参加者が着任し、異国での生活に少し戸惑いながらも、徐々に日本での生活に慣れ始めているころでしょう。本年度はオーストラリアから129名、ニュージーランドから90名の新規参加者が日本へと旅立っていきました。到着後には東京都内及び各都道府県で新規参加者へのオリエンテーションが開催されますが、出発前にも新規参加者のためにいろいろな研修が行われています。

1 JETAA が親身になって参加者をサポート

皆さんはJETAAという組織をご存じでしょうか？JETプログラムを終了した卒業生有志を中心に結成された「JETプログラム同窓会」のことです。現在、17の国と地域で約25,000名の方がJETAAに加入しており、日本と各国との相互理解の推進のために活躍しています。オーストラリアとニュージーランドにもJETAAの支部があり、新規参加者への研修にはJETAAの存在が欠かせません。



JETAAの方は、自分たちの日本での経験をもとに、携帯電話やインターネットなどの手続きから、日本での車の運転の仕方、日本でのマナー、カルチャーショック、学校での子どもたちとの触れ合い方、授業の行い方に至るまで幅広いアドバイスを親切・丁寧に行ってくれており、新規参加者の心配や疑問を解決するのに大きな助けとなっています。

2 姉妹交流の縁を生かして

西オーストラリア州のパスで行われた研修会には、兵庫県の公立学校の教諭の方が2名参加されていました。兵庫県と西オーストラリア州が姉妹提携を結んでいることから、お互いの公立学校教諭の交換プログラムを昭和57年から行っており、お二人は現地で日本語を教えているとのことでした。お二人はJETAAと一緒に日本での英語の授業の様子がどのように行なわれているのかデモンストレーションを行い、新規参加者は非常に興味深く見入っていました。



3 クレアシドニーによるサポート

クリアシドニーではこの研修の機会に、クリア本部が行う日本語講座や各種研修、JET 参加者のための英語ホットライン「JET Line」、現役 JET 参加者のボランティアネットワークによるサポート体制などについてお話をしています。また、各参加者の赴任自治体に関するパンフレットを配布するなどして、少しでも新規参加者の不安を取り除けるように取り組んでいます。



4 JET 参加者は地域の「外交官」

JET プログラムは、外国語教育の充実、自治体の国際関係業務の支援のみを目的としている訳ではなく、地域レベルでの草の根の国際交流の進展を図ることを大きな目的の1つとしています。出発前に開催された壮行会では「オーストラリア英語やラグビー、クリケットなどの文化を日本の方にもっと知ってもらいたい」「赴任先でオーストラ



リアのことをたくさん紹介したい。そして帰国後は、赴任した地域のことをたくさんオーストラリアの方に紹介したい。私はオーストラリアの代表として JET プログラムに参加するのです」という声が聞かれました。参加者の皆さんが日本各地で活躍し、また将来は JETAA メンバーとして各国と日本の架け橋として活躍していただけることを願ってやみません。

- JET プログラムの詳細はこちらから

<http://www.jetprogramme.org/j/index.html>

- JETAA の詳細はこちらから

<http://www.jetprogramme.org/j/former/jetaa.html>

- JET プログラム Facebook ページ

<https://www.facebook.com/pages/JET-Programme/219440938121634>

(迫田所長補佐 北海道鹿追町派遣)